

令和 4年度行政評価シート

■指標

種類	指 標 名	単 位		R04年度	R05年度	R06年度
活動 指標	天井等改修工事の発注件数	件	目標	0.00	0.00	1.00
	R6、R7市民文化センター天井等改修工事		実績	0.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果 指標	天井等の改修件数	件	目標	0.00	0.00	0.00
	市民の文化活動の拠点及び避難所として、安全安心な環境を維持する。		実績	0.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	本施設の大・小ホールの吊り天井は、平成26年の「建築基準法施行令」の改正により、既存不適格となったため、早急に改修する必要がある。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	法令に適合した天井に改修し、利用者の安全を確保することは、設置者である市の責任である。
	手段の妥当性	A 妥当である	令和3年度に策定した「基本設計」に基づき、天井改修に最適な工法を選択し、工事内容を決定している。
効率性	コストの効率性・人員効率	A 改善の余地はない	天井工事に合わせて、避難所としての機能を高めるため、冷暖房設備やトイレ改修工事を実施することによって、「緊急防災・減災事業債」が充当でき、市の財政負担の軽減が図られる。
公平性	受益者の偏り	A 偏りは見られない	施設の安全性が向上することは、市民だけでなく、市外からの利用者にとっても有益である。
有効性	成果向上の余地	A 上がっている	施設の日常的な安全性や利便性が向上するとともに、災害時の避難所としての機能向上が図られることは、施設自体の価値を高めるものである。
進捗度	事業の進捗	A 順調である	当初計画に基づき、令和3年度に「基本設計」、令和4年度に「実施設計」を作成し、令和6・7年度の2か年の継続事業として、改修工事を実施する。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
実際に工事が着手されると、設計に含まれない事案の発生や、現在の世界情勢に伴う原材料費の高騰、入手の遅延など、想定外の事態の発生が懸念される。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
問題が発生した場合、関係機関や施工者と速やかに協議を行い、最善の方法を選択することによって、工期限内に工事を完了させることを目指していく。			

■方向性

1 次評価（1 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☐ 改善改革しながら継続 ☒ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置 方向性の具体的内容 アクロスの特定天井は、法改正により既存不適格と判断され、行政指導も受けている。災害時には避難所になることから、利用者の生命を守るため改修は不可欠である。
2 次評価（2 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☒ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置 企画調整会議の意見・考え方（1 次評価者と同じ場合も記入） 財政状況と可能な限り調和を図りながら進める。